

CAP

Child Assault Prevention

おとな ワークショップ

いじめ・虐待・誘拐など、子どもへの暴力は、家庭・学校も含めた私たちの身近な地域で起きています。

私たち地域のおとなは、子ども達を支えるために、何ができるのでしょうか？

子どもが孤立することなく、安心して過ごせる地域をめざして、暴力防止策をお伝えします。どうぞご参加ください。

日 時：2018年11月17日(土) 10:00 ~ 12:00
 場 所：メセナ枚方会館 3階 第2会議室
 参加費：無料
 主催：しまもとCAP 島本町広瀬1丁目3-21 すぺーす・をかし内
 申込・問合せ：080-3763-3630 (藤井 / 9:00~21:00)
 080-5714-4479 (北谷 / 9:00~21:00)



キ ャ ッ プ

CAPって、なあに？

CAPの 子ども観と思想

CAPは、子どもを大人が守ってやらなければ何もできない弱い存在とは考えません。子どもにも大人と同じように、安心して、自信をもって、自由に行動する権利があり、そのように生きる力を子ども自身が内に持っていると考えます。

例えば、子どもが川でおぼれない対策として「川に近寄ってはいけない」というような回避策と、泳ぎ方や川の知識を教える方法があります。前者は子どもの無力感をあおり、後者は子どもの力を引き出し、自信を持たせます。

CAPは後者を選びます。

CAPの 歴史

CAPプログラムは1978年にアメリカ・オハイオ州コロンバス市のレイブ救援センターによって作られました。以後全米に広まり、現在は約200のプロジェクトが活動しています。米国のほか、世界12か国で実施されています。

日本には1985年にCAPトレーナー・森田ゆりさんによって紹介されました。

日本では1997年~2017年3月までに、大人が200万人以上、子どもが330万人以上受けています。

CAPのすべての権限はニュージャージー州のEIRC/ICAPが持っています。

CAPおとな ワークショップ

子どもを支える立場にある大人たちのために！

安心・自信・自由の3つの権利を学んだ子どもたちを支えるために、大人もCAPを学ぶことが必要です。

大人のワークショップでは、

- ◎子ども虐待とは
- ◎なぜ、子どもは暴力の被害を受けやすいのか
- ◎どうしたら暴力を防げるのか
- ◎大人にできること

…などについて学びます。